

昭和村議会だより

第63号

平成24年4月15日 3月定例会

＜群馬県昭和村議会＞

2・3 平成24年度予算

4～6 3月定例会で決めたこと

10～15 村の姿勢を問う

18～19 みんなの声

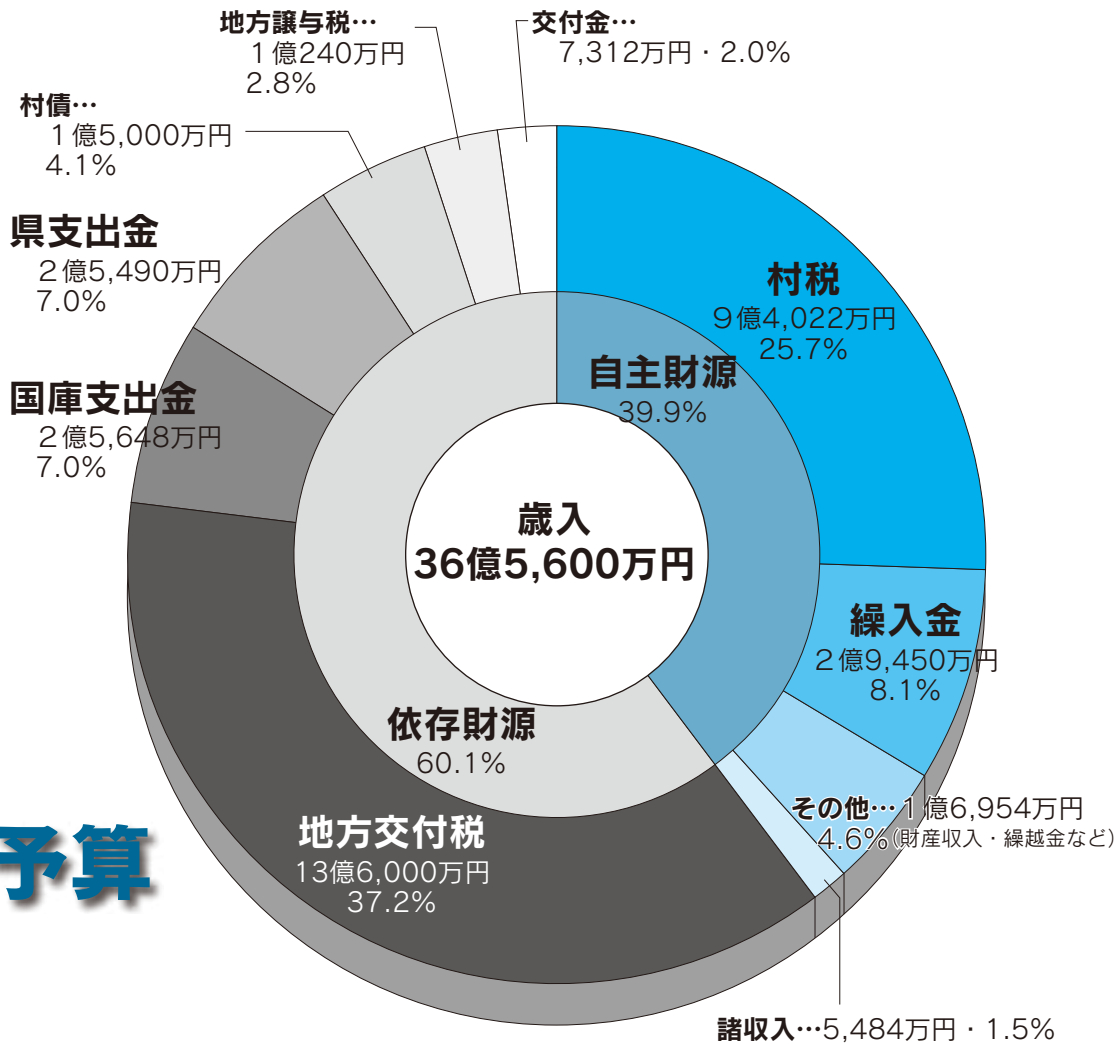
した村づくりに向けて

3月定例会において、平成24年度一般会計予算、5つの特別会計予算が提出され、全て原案のとおり可決しました。なお、今回は予算額の万円未満を四捨五入したため、必ずしも合計額と一致していません。

歳入

村税は、個人住民税が年少扶養控除の廃止や企業収益の回復による法人住民税の増額が見込まれ、対前年度784万5千円の増額です。歳入総額に占める自主財源の割合は、39・9%、依存財源は、60・1%となりました。今後、国・県の補助金は期待できないので、節度ある財政運営が必要です。

計予算



今年度の新たな事業

総務課

- ・ 地域防災計画の見直し
- ・ 電気自動車 (E V) の購入

企画課

- ・ 景観形成基本計画策定
- ・ 昭和村あぐりーむ学校の開催

保健福祉課

- ・ 保育料第3子以降無料化

産業課

- ・ 住宅用太陽光発電システム設置費補助
- ・ 放射性物質測定・除染対策

建設課

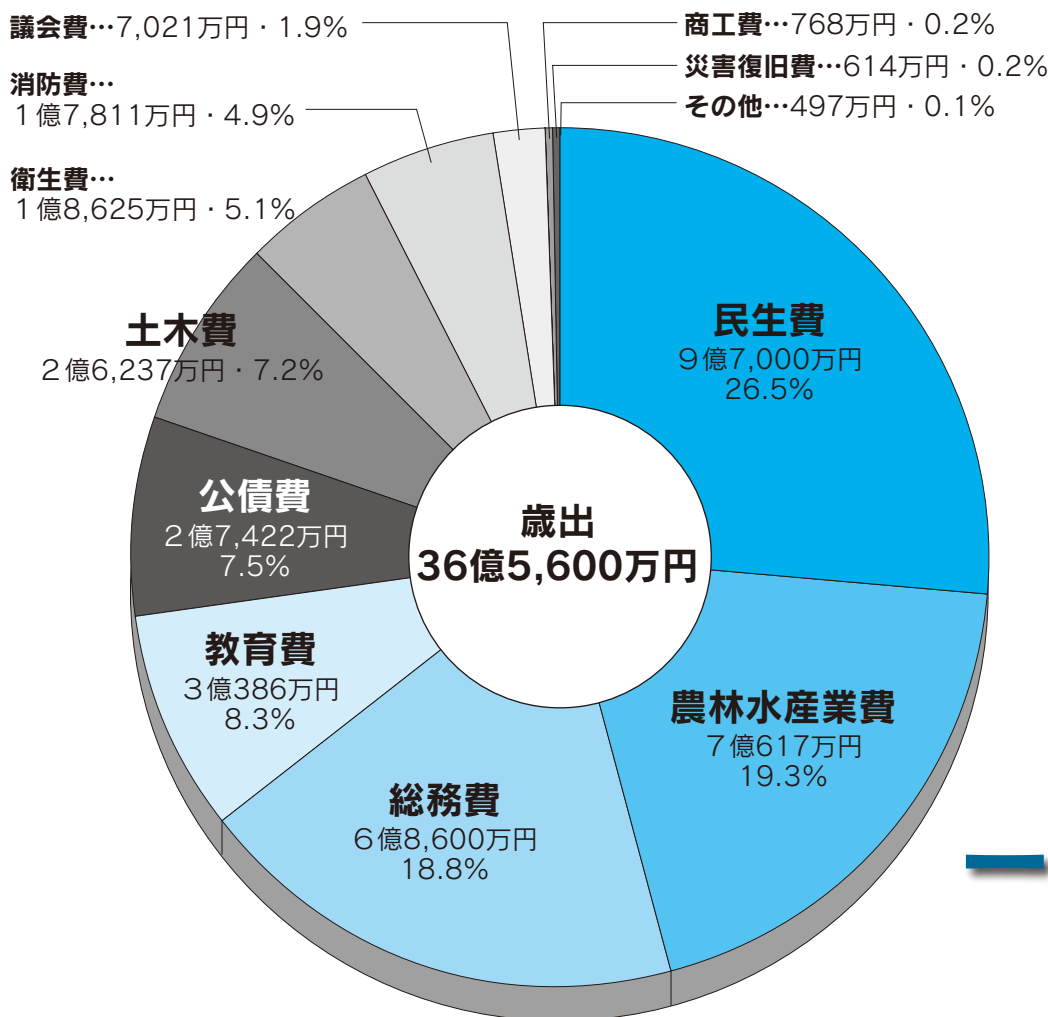
- ・ 広域農道補修県営事業費負担
- ・ 住宅リフォーム助成
- ・ 耐震診断者派遣

※ 年少扶養控除…納税者に16歳未満の扶養親族がいる場合に適用される所得控除。

少子化・環境に配慮

歳出

義務的経費は公債費や扶助費の減により2300万円の減額、一方、投資的経費は1億786万の増額となりました。また、新規事業が計上され、少子化対策や環境面に配慮した予算となりました。しかし、厳しい財政状況に変わりなく、引き続き財政健全化を進めなくてはなりません。



一般会

予算総額 **58億8,103万円**

特別会計予算

(前年度比3.4%増)

総額 **22億2,503万円**

国民健康保険特別会計	10億5,040万円	(1,118万円減)
簡易水道事業特別会計	1億 598万円	(81万円減)
農業集落排水事業特別会計	3億2,600万円	(1,500万円増)
介護保険特別会計	6億6,231万円	(5,995万円増)
後期高齢者医療特別会計	8,034万円	(1,108万円増)

(カッコ内の数字は前年度比)

3月 定例会 で決めたこと

平成24年3月定例会は、3月8日から16日までの会期で開催しました。村長職務代理者から平成23年度一般会計補正予算および特別会計補正予算5件のほか、24年度一般会計予算並びに特別会計予算5件、条例の制定1件、条例の改正7件、承認2件など合計26件と、請願・陳情が提出されました。

また、6人の議員が村政の課題について、幅広く一般質問を行い、村の考えを問いただしました。

専決処分

和解及び損害賠償額の決定
村道永井桜線のグレーチングが跳ね、車両を破損させたことによる損害賠償金7万8千965円。
(全員賛成)

平成23年度一般会計補正予算(第6号)
189万9千円を追加し、予算総額は38億4884万1千円となりました。
主な歳出は、道の駅におけるイベントの経費です。
(全員賛成)

条例の改正

税条例の一部を改正する条例
県たばこ税と村たばこ税

の税率調整。東日本大震災に関わる雑損控除額等の特例、大規模災害がやんだ日から3年以内の支出、および東日本大震災からの復興に関し防災施策の地方税の臨時特例課税標準は500円の加算となる税率改正。
(賛成多数)

小口資金融資促進条例の一部を改正する条例
返済負担軽減策が23年度以前に融資実行を対象に融資期間を最長で3年延長。
(全員賛成)

農漁業災害対策特別措置条例の一部を改正する条例
天災の種類に高温、竜巻及び突風を加える。また、降ひょう、竜巻、突風等局地的な災害は適用基準を1/2

に緩和し該当しない場合でも被害状況によって知事が認めた場合災害適用。
(全員賛成)

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
国でスポーツ基本法を制定し現在の体育指導員をスポーツ推進委員に名称変更。
(全員賛成)

青少年問題協議会条例の一部を改正する条例
教育次長の役職名を事務局長に変更。
(全員賛成)

公民館条例の一部を改正する条例
公民館運営審議会委員の委嘱について、「学校教育

介護保険条例の一部を改正する条例
平成21年～23年度の介護保険料の月額基準は3440円であったものを平成24年～26年度は4725円。
(賛成多数)

及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者の中から教育委員会が任命する」という条文を加えた。
(全員賛成)

条例の制定

収入印紙等購買基金条例の制定
一般旅券発給(パスポート)事務の利便を図るため収入印紙及び県収入証紙の取扱いをするため。
(全員賛成)



総務課住民係窓口

平成23年度一般会計補正予算

6,167万円を増額

その他

苗畑地区農地の処分

農地15万3749㎡売却
内16区画抽選、入札10区画、
総額1億1928万円で売
り払い。
(全員賛成)

和解及び損害賠償額の決定

村道大坂中野線の倒木に
車両が衝突したことによる
損害賠償金7万9千558
円。
(全員賛成)

公の施設の指定管理者の指 定

公募によらず「昭和村社
会福祉協議会」へ引き継い



昭和東学童クラブ

て以下の施設、総合福祉セ
ンター「昭和の湯」、通所
介護施設デイサービスセン
ター「昭和の里」、昭和村
ふれあい館、昭和東学童ク
ラブ、昭和南学童クラブ、
昭和大河原学童クラブ、指
定管理期間は平成24年4月
1日から3年間。
昭和村地域支援センター、
在宅重度心身障害者「デイ
サービスセンター」「燦」は
社会福祉法人昭和ゆたか会
へ。平成24年4月1日から
3年間指定管理。
(全員賛成)

補正予算

平成23年度一般会計補正予 算(第7号)

6167万2千円を追加
し、予算総額は39億105
1万3千円となりました。
主な歳出は、村道桂坂板
戸線の舗装補修工事費で、
赤城高原SAから村道永井
中野線までの約2・8kmで
す。また、除雪作業費とし
て2000万円を増額。
(全員賛成)

平成23年度国民健康保険特 別会計補正予算(第3号)

1382万6千円を減額
し、予算総額は10億888
8万3千円。
(全員賛成)

平成23年度簡易水道事業特 別会計補正予算(第2号)

209万3千円を減額
し、予算総額は1億709
万5千円。
(全員賛成)

平成23年度農業集落排水事 業特別会計補正予算(第2 号)

2200万円を減額し、
予算総額は2億9300万
円。
(全員賛成)

平成23年度介護保険特別会 計補正予算(第2号)

465万7千円を追加
し、予算総額は6億177
7万6千円。
(全員賛成)

平成23年度後期高齢者医 療特別会計補正予算(第1 号)

157万2千円を減額
し、予算総額は6769万
3千円。
(全員賛成)

意見書等

医療費助成制度の現物給付
に伴う国庫負担金減額措置
の廃止を求める意見書

群馬県では、県と市町村
が連携して中学卒業までの
子どもの医療費無料化を実
施しています。国はこのよ
うに現物給付をしている自
治体に対し、国民健康保険
の国庫負担金減額措置を講
じており、直ちに廃止する
よう衆議院議長ほか6名に
提出。
(全員賛成)

医療費助成制度の現物給付

に伴う国庫負担金減額措置
の廃止を求める要望書

意見書を要望書に替え、
群馬県選出の衆・参議院議
員14名に提出。(全員賛成)

県道下久屋渋川線への早期
自歩道設置工事を求める意
見書

貝野瀬地内の県道「下久
屋渋川線」は幅員が狭く、
視距が取れない部分が一部
あり、学童が危険にさらさ
れているため、速やかに自
歩道の設置工事を実現され
るよう、群馬県知事ほか2
名に提出。(全員賛成)

臨時会

平成24年4月5日、臨時
会を開催しました。

議長選挙

藤井富夫副議長を指名推
選により議長に選出。

副議長選挙

高橋昇三議員を指名推選
により副議長に選出。

議席の一部変更

藤井議長の議席が12番、
高橋副議長の議席が11番に、
6番が欠番となりました。

常任委員の所属変更

文教産建常任委員会の高
橋昇三副委員長が総務民生
常任委員となり、互選によ
り、加藤生委員を文教産建

常任委員会副委員長に選出。

特別委員会委員の選任

高橋副議長を議会広報編集特別委員会委員に選出。

監査委員の選任意意

藤井議長が監査委員を辞職したことに伴い、高橋昇三副議長を選任するものとす。
(全員賛成)

専決処分

昭和村税条例の一部を改正する条例

固定資産税の負担調整措置、及び東日本大震災関連の譲渡期限の特例と住宅借入金等特別税額控除の適用期間の延長が主な改正です。
(全員賛成)

昭和村国民健康保険条例の一部を改正する条例

東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を、現行の3年から7年にするものです。
(全員賛成)

平成23年度一般会計補正予

算(第8号)

8397万7千円を追加し、予算総額は39億9449万円となりました。

主な歳入は、特別交付税が1億2463万円の増額。主な歳出では、財政調整基金に8508万5千円を積み立てます。
(全員賛成)

平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

1148万4千円を追加し、予算総額は11億36万7千円となりました。
(全員賛成)

補正予算

平成24年度一般会計補正予算(第1号)

438万8千円を追加し、予算総額は36億6038万8千円となりました。

主な歳出は、放射能検査を行うための消耗品費や検査委託料、検査機器室工事費などです。また、議会議員補欠選挙費などです。
(全員賛成)

みなさんからの請願・陳情

自 平成23年8月26日 至 平成24年2月27日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
13	H23.8.26	「あぐりーむ館」改築に関する請願書	昭和村商工会 会長 治田 貞賢 昭和村さくら工房 会長 兼田 矩美	兵藤喜孝	文教産建	不採択
16	H23.11.9	年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 小崎洋一郎 利根支部長 宮内 堯夫	林 幸司	総務民生	不採択
17	H23.11.9	0.4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める請願	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 小崎洋一郎 利根支部長 宮内 堯夫	林 幸司	総務民生	不採択
18	H23.11.9	全額国庫負担による最低保障年金制度の創設を求める請願	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 小崎洋一郎 利根支部長 宮内 堯夫	林 幸司	総務民生	不採択
19	H23.11.17	子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める請願書	群馬県保育問題連絡会 会長 吉武 徹	林 幸司	総務民生	継続審査
22	H24.2.17	請願書 公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため「公契約条例」の制定を求める請願	利根沼田労働組合会議 議長 加藤 貴	林 幸司	総務民生	趣旨採択
23	H24.2.17	請願書 公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため「公契約法」の制定に関する意見書の採択を求める請願	利根沼田労働組合会議 議長 加藤 貴	林 幸司	総務民生	趣旨採択
24	H24.2.27	陳情書 貝野瀬地内の県道「下小屋渋川線」拡幅・歩道整備を求める陳情書	貝野瀬区代表区長 林 誠一郎 ほか5名	横坂先夫 林 幸司	文教産建	採択

就任・退任のあいさつ

村発展と福祉向上に努力



議長 富夫氏
藤井

村民の皆様には、平素より村政並びに村議会に対しまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

去る4月5日の臨時議会において、指名推薦により議長職をお受けすることになりました。私にとりまして、誠に光栄でありますとともに、その責任の重さを痛感しているところであります。今後も、議会の果たすべき役割を十分認識し、昭和村の発展と村民福祉の向上に、最善の努力を尽くす決意であります。

さて、地方を取り巻く環境は、長引く景気低迷により財政状況も依然として厳しく、少子高齢化やグローバル化、災害への危機管理等、数多くの課題を抱えております。このようなか、村民皆様から負託を受けた議会としましては、村民皆様の声を

十分受けとめ、安心・安全に暮らせる活力ある村づくりに向け、また開かれた議会を目指し、なお一層努力して参る所存であります。

皆様方には、今後とも村議会の活動について、御指導と御協力をいただきますようお願い申し上げます。議長就任のあいさつといたします。

希望の持てる村づくりを



副議長 昇三氏
高橋

このたび、議員各位の推薦により、副議長という大役を務めることになりました。もとより浅学非才な私であり、その任は重く身に余る大役ではありますが、皆様の御指導と御協力をお願いし、精一杯頑張る覚悟であります。

村の人口も少しではありますが、減少傾向にあり、基幹産業の農業はTPP問題や昨年の原発事故による

風評被害など不安要素も多く、将来が見えない状況です。また、中央政治の混乱が国民の未来を暗くしているように思います。しかし、昭和村では、先輩や村民皆様の御尽力により、良い方向に進んでいると思います。

議会では、議会基本条例の制定をはじめ、開かれた議会を目指し、村民皆様が安心して生活ができ、将来に向かって希望の持てる村づくりを目指して頑張る所存です。

首長との関係が車の両輪となるべく議会の役割を果たしていきたいと存じますので、今後とも、村民皆様の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

さらなる議会改革を願う



前議長 幸一郎氏
高橋

このたび、私儀、3月30日付けを

もちまして、一身上の都合により、議長及び議員の職を辞させていただきます。一昨年の12月に議長に就任して以来、村民皆様や議員各位の御指導と御協力によりまして、微力ではありましたが、誠心誠意務めさせていただいたと思っております。

ところで、近年の地方分権の進展等に伴い、議会の役割もますます重要になっております。議長就任当初から「行財政改革」や「開かれた議会」を最優先課題として取り組んで参りましたが、議会の最高法規ともいえるべき議会基本条例の制定等、道半ばのものもあります。

また、国が進める環太平洋経済連携協定(TPP)の断固阻止や、子どもを生み・育てやすい環境を実現するための少子化対策など課題もありますが、新議長のもと新体制に託すとともに、今後のさらなる議会改革を心から願うものであります。

終わりに、村民皆様をはじめ議員各位並びに村当局に心から感謝を申し上げます。議長退任のあいさつとさせていただきます。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

新年度予算を可決すべきと決定

3月14日に総務民生常任委員会を開催し、昭和村地域支援センター在宅重度心身障害者デイサービスセンター「燦」や、同じ敷地内にある障害福祉サービス多機能型事業所「星夜の森学舎」、昭和の森山荘の現地視察を行いました。

その後、付託案件の審査を行い、年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願では、年金制度における

安定財源の確保が問題であることから、賛成多数により不採択。

0・4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める請願では、年金制度を維持する必要があることから、賛成多数により不採択。

全額国庫負担による最低保障年金制度の創設を求める請願では、制度の創設に当たっては莫大な財源を必要とし、その財源も不透明

であることから、賛成多数により不採択。

子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める請願では、新システムについて不明確な点もあることから、全会一致で継続審査。

公契約に係る事業の質の

確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため、「公契約条例」の制定を求める請願では、

村で行っている入札制度に対して特に苦情等はなく、また労働者の賃金や労働条件などについての指揮監督権は労働局や労働基準監督署にあることから、賛成多数により趣旨採択。

公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため、「公契約法」の制定に関する意見書の採択を求める請願では、前の請願と同様の理由から、賛成多数により趣旨採択。

続いて、平成24年度一般会計予算・特別会計予算について全般にわたり質疑を

行った結果、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算いずれも、賛成多数により可決すべきと決定しました。

新年度においては、良好な景観の実現に向けた景観形成基本計画の策定や、災害対策全般にわたる地域防災計画の見直しに着手します。

行った結果、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算いずれも、賛成多数により可決すべきと決定しました。



星夜の森学舎を視察



老朽化した昭和の森山荘について説明を受ける

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

貝野瀬地内の県道整備を要請

3月15日に文教産建常任委員会を開催し、付託された貝野瀬地内の陳情箇所の現地調査を実施し、請願・陳情について審査を行いました。

「あぐりーむ館」改築に関する請願では、9月定例会より継続審査となっている案件で、これまでに、手動ドアに「取っ手」を付けるなど一部対策が講じられています。今後、自助努力をしていただき、もう少し様子

を見てから判断すべきとのことから、賛成多数により不採択。

貝野瀬地内の県道「下久屋浜川線」拡幅・歩道整備を求める陳情では、当該県道の交通量は年々増加し、地域における子ども達や高齢者など歩行者の交通安全対策が急務となっています。村当局においても、毎年、利根地方総合開発協会へ歩道整備の要望を出しています。また、地域住民

の全面的な協力体制もできていることから、全会一致で採択。

平成24年度一般会計予算・特別会計予算については、全般にわたり質疑を行うなど慎重審議をした結果、全会一致により原案のとおり可決すべきと決定しました。

新年度においては、地球環境に負荷の少ないクリーンエネルギー

の普及促進を図るため、住宅用太陽光発電システム設置補助金を計上。放射性物質除染対策事業として、放射能の定点測定を継続するとともに、基準値を超えた土壌について

は除染を行います。また、住環境の変化などにより住宅改修の需要が高まる中、村内業者を利用するなど一定の条件で10万円を限度に住宅リフォーム助成事業を行います。さらに、道の駅「あぐりーむ昭和」を核とした観光事業の推進や、村道永井中野線等の維持補修を実施します。

また、新聞等で子ども達の非行の低年齢化が報道され、昨年は高校生よりも中

学生の補導が多かったが、本村においては、昭和中学生は皆よい子で全く心配ないとのことでした。

このほか、昨年5月に完成した「渋川県産材センター」の視察を行いました。当センターは、戦後植林したスギやヒノキなどの人工林が大きく成長し、本格的な利用時期を迎えていることから、県産材有効利用の拠点施設として整備されたものです。



貝野瀬地内の県道を調査



渋川県産材センターの取組について研修

一般質問

加藤村長の四選出馬は？



横坂 先夫 議員

問

村長の残してきた12年間の多くの職責は村内はもとより県内外に高く評価されています。4選に出馬するのであれば、昭和村にとって夢のあるマニフェストをしめしてもらいたい。

答

村長職務代理者

加藤村長でございますが、3月5日の月曜日に当たると思いますが、4選出馬の意向についての質問通告の旨を伝えまして、加藤村長の考えを伺ってまいりました。

がれき処理について

問

去年の東日本大震災で発生した津波で東北地方各県のがれき処理についてお聞きしたいと思います。

答

村長職務代理者

山積みとなった多量のがれき処理が進まないことには、復興事業は進まないという困難な問題に

次期村長選挙には立候補をせずに、後進に道を譲り、新たな方に村のかじ取りをお願いしたいとの考えであるとのことでございます。



村づくりの指針となる総合計画

直面しております。

困難にしているのが、放射能の問題でございます、基準値以下の廃棄物については国、地方自治体を問わず広域処理にとりくまなければならない問題であると考えています。

村内にはがれきを受け入れる焼却施設がござい

ませんので、直接受け入れることは困難な状況です。

昭和村が構成員となっている沼田市ほか2カ村清掃施設組合の焼却施設について、村も関係者として検討を行いました、昭和49年から稼働している施設で、大変老朽

化が進んでいる状況でございます。当初、日量120トンの処理能力がございましたが、現在は70トンまで落ちている状況です。残念ながら他地域で発生したがれき類を処理する能力は現在のところございません。



宮城県女川町の津波被害状況

姿勢問

第4次総合計画の検証は



加藤 生 議員

問

平成12年度村の借金である各会計村

債等の元金総額は109億8118万円で、一般会計予算の実に3倍であり、貯金にあたる基金の総額は25億5709万円であった。

また、平成15年度は、合併か自主自立かの住民アンケートを実施し、民意を踏まえて12月定例会に自主自立を提案、議会では記名投票を行い、賛

成多数をもって自主自立に決まった。

平成16年度、望郷ライオン整備に伴う償還が始まり、平成19年度、国からの地方交付税が減少し、一般会計の当初予算が32億5900万円と超緊縮予算となったが、関屋工業団地に味の素フアインテクノ(株)、藤森工業(株)、佐藤運送(株)が進出した。平成20年度、赤城原畑地帯総合土地改良事業の

償還が完済となり、村債等の総額は74億5999万5千円、基金総額は26億785万円。

平成23年度見込みの各会計村債等元金総額は62億8100万円、基金総額33億5800万円。

平成12年度各会計の村債等元金総額と平成23年度見込額との比較では、47億6万円、率にして42%償還し、残額62億8112万円の見込みとなった。また、各基金総額では8億143万5千円、31%増の33億5853万円の見込みである。

危機的財政状況から夢が持てる状況へ、そして各分団詰所の立て替えや、農村女性の起業家を育む「あぐりーむ館」、村の情報発信を行う道の駅などが整備され、24年度から新たに、子育て支援のための「保育料第3子以降無料化事業」が実施される。

そこで、第5次総合計画策定についてお聞きたい。住民参加による元

気な村づくりを継続するために、第4次総合計画の検証を進めるのか。

答 村長職務代理者

平成12年、加藤村長就任時には、地方に財政危機が訪れましたが、この12年間に長期債務と財政調整基金両方を勘案し、49億円程度を財政健全化に費やしました。

それから、第4次総合計画も、来年度で8年目を迎えます。グローバル化した経済情勢や少子高齢化、高度情報化の進展など、社会情勢は予測できないほど大きく変化しており、時代に対応した総合計画の策定作業が計画に上がってくる時期となりました。新村長の構想を取り入れた第5次総合計画が策定されるものと考えています。この過程で、住民アンケート調査や村づくり懇談会等を活用し、新しい手法が工夫され、過去の実績や経験が生かされていくものと考えています。



3月3日に行われた「ひなまつりイベント」

一般質問

村道七曲赤谷線の融雪施設工事について



角田 茂 議員

問

この施設の工事費は、平成23年9月定例会において補正予算が可決したのに、なぜ工期が23年12月から24年3月15日なのか。また、この施設は、いつ必要なのか。真冬の1月、2月に舗装工事しても後で支障はないのか。業者に聞いたところ、寒いときと真夏は舗装工事はしないそうだが、責任を持って答弁していただきたい。冬場の一番必要なときに工事をして使用できない。こんな工事の発注をして、本当に税金の無駄使いだと思うが、如何なものか。別に9月に予算を取らなくても、12月でもよかったのではないか。

答

村長職務代理者

工期については、例年のコンニャク掘りが終わ

る時期を見計らって、11月29日から3月15日までとしました。

この施設は、融雪施設です。積雪、凍結防止のため冬季に必要となります。従って、本工事完成前でしたが、稼動が可能となった2月6日より運転を開始しています。

真冬の舗装工事については、舗装転圧等の温度管理など、群馬県の品質管理基準に基づき施工していますので、支障なく施工されたと考えています。

問

9月に予算を取ったのだから、10月には工事が終わると思う。一日でも早く工事を完成させて、冬期間、危険のないようにするべきだと思うが、真冬に使えなかったという点について聞いておきたい。

答

建設課長

確かに、昨年9月に補正させていただきましたが、詳細設計等にも多少

の時間はかかります。また、村の基幹作物であるコンニャクの収穫時期です。農作業等の時期は外し、12月からの着工となりました。

今回設置した融雪施設の電気代については、2月6日の稼動になっていきますので、詳細等は出ていません。



村道七曲赤谷線の工事箇所

姿勢問

土砂災害防止の対策は



星野 吉一 議員

問

土砂災害防止法が施行され、土砂災害警戒区域の指定を受けた。区内住民への周知はどうか。指定区域内の建設規制はあるのか。それに対しての補助金はあるのか。安全対策工事はあるのか。

答

村長職務代理者

災害の恐れがある土砂災害警戒区域は72ヶ所あり、特別警戒区域は59ヶ所あります。区長さん関係住民への人たちには説明会を実施しました。指定区域図を住民センターへ掲示していきます。特別警戒区域内には、住宅はありません。工事については予定していません。



問

関係国とTPP交渉が進み対象品目など情報提供も少なく今後大きな不安がある。全国に誇れるこの昭和村農業を守るには世界の農業に対応できる勉強会を行い、若い人達に広い視野を持つて世界の農業を見て勉強する機会を。

答

村長職務代理者

昭和村では若い後継者

TPP交渉が進む中で研修を

も多く全国に誇れる有数の農業村です。今後のTPPの動向にかかわらず意欲を持って農業発展に尽力してもらいたいです。国際社会において若い人達に情報発信や研修会等の場を提供することが重要です。産業青年海外派遣事業を中心に若い人達が育つよう検討します。



一般質問

旧糸之瀬村役場の活用について



兵藤 喜孝 議員

問

全国各地で歴史的建造物を大切に考え、整備して活用していく取り組みが、広がっております。村が加盟している「日本で最も美しい村連合」でも歴史的にも貴重な養蚕農家、古い建物、家並みが高い評価を受けています。また、歴史を考える中で「古い建物が無い町は、思い出のない人生のようなものだ」という言葉があります。歴史を持った建物には、数多くの物語があり、人々の思い出がつまっています。この建物は村だけでなく、広く日本の歴史を物語る貴重な建築物であるので、整備をして地域文化財として活用し、後世に長く伝え守られるべき建築物であると思うが、村ではどう考えているのか。

答

村長職務代理者

NPO法人・街・建築・文化再生集団が調査を進めてまいりました。また、このNPO法人は昭

和村の養蚕農家群につきましても、歴史的景観として大変価値があるものと考え、村内において調査活動を続けてまいりました。役場も調査協力をしてきた経緯がございます。

この建物は調査の結果明治20年に旧糸之瀬村で建造し、寄附されたものであることが判明しました。明治期

の警署として、旧松井田警察署に次いで古く、現存する役場庁舎としては県内最古のことです。後世に長く伝え守られるべき建築物であると思

で、引き続き専門家の意見を伺いながら村指定文化財としての指定が可能か、住民の活用施設としてのどのような利用が可能か、また保存修復修理にどのくらい経費がかかるか総合的に判断をして今後の対応をしていきたいと考えています。



歴史を物語る旧糸之瀬村役場



生越地区の養蚕住宅

姿勢問う

役場庁舎の耐震改修



林 幸司 議員



築40年以上、船をモチーフした役場庁舎

問

耐震改修促進法で防災拠点として庁舎耐震化が義務付けられました。地盤やダム決壊対策がクリアできれば、新築ではなく、7割が交付税算入される有利な起債事業、緊急防災・減災事業を活用して、耐震改修する方が現実的なので、検討を開始するよう求めます。

答

村長職務代理者

新築に対する国県の補助事業はございません。緊急防災・減災事業の起債活用は、情報収集に努め検討してまいりたい。検討委員会の立ち上げは、次期新村長が重点的に取り組むべき課題であると考えております。

問

行政手続法に基づく意見公募手続制度（パブリックコメント）を実施するよう求めます。

答

村長職務代理者

運用では、応募が少ない問題点も指摘されてい

パブリックコメント実施を

ます。町村では、住民の意見が公職者を通じて反映されていることを示しているのではないかと

今後も意見聴取は不可欠なものであり、ルール化等につきましては研究を続けていきたい。

6次産業化の推進を

問

農水省の目玉施策のひとつで、認定されると数多くのメリットが受けられます。

村独自の予算も確保し地域密着型で推進施策の実施を求めます。

答

村長職務代理者

旬菜館やさくら工房のように、農家が生産から加工まで手がけ所得向上を図るのが6次産業化。村としても、農産物の付加価値を高めるための加工販売や地域資源を活用した新たな取り組みを



さくら工房による加工品

支援し、今後は6次産業化の視点にも立ち、農業施策をすすめていきたい。

関屋工業団地の4社の現状を把握

1月19日から20日の日程で、関屋工業団地に議会視察研修を実施した。

佐藤運送(株)昭和インター営業所

- ① 平成19年3月竣工、4月稼動開始。
- ② 冷凍庫棟(マイナス5℃)・マイナス23・5℃(ドライ倉庫棟(ガス暖房により25℃±3℃))
- ③ エアーシエルトで温度管理

総合物流会社としての使命に徹し、社会の繁栄と環境保全に万全を尽くします。

味の素ファインテクノ(株)群馬工場

- ① 平成10年、商号を味の素ファインテクノ(株)に変更
- ② 平成11年A B F(味の素ビルドアップフィルム)が半導体パッケージ基板に採用される。
- ③ ワニス↓フィルム↓ストック
- ④ 第2ワニス棟を建設中であり、平成24年3月完成予定。

高度な技術と安定した供給体制が、お客様の「安心」と「信頼」に結びつきます。

藤森工業(株)昭和事業所

- ① 平成4年に沼田工場完成。平成19年8月昭和事業所開設。



味の素ファインテクノ(株)群馬工場

- ② 沼田事業所の敷地面積1万坪
- ③ 昭和事業所の敷地面積2万坪
- ④ ハウスネームZACROS(Z...究極、ACROS...先端)

「包む価値」の創造を通じて、幅広い産業分野からの信頼にお応えし続けます。

キヤノン電子(株)赤城事業所

赤城事業所の敷地面積148,112.48㎡

赤城事業所の開設

新規事業を興し続ける。最適生産方式の徹底三自の精神(自覚、自発、自治)

世界トップレベルの高収益企業を築き、社会に貢献し、世界から尊敬を受ける企業を目指します。

議会基本条例を学ぶため先進地を視察



ときがわ町議会を視察

議会基本条例策定特別委員会では2月9日、埼玉県のときがわ町議会と鶴ヶ島市議会を訪れ、議会基本条例制定のための視察を行いました。

- ④ 像を描ける議会
社会変化で生じる新たな課題に対し、迅速かつ柔軟に対応できる議会
- ⑤ 町民の皆様の意思を的確に把握・反映できる、町民協働を先導できる議会

ときがわ町
ときがわ町議会が目指す議会とは：

- ① 地方分権化社会に対応できる議会
- ② 安心して行政監視を任せられる議会
- ③ 全体的視野で地域の将来

鶴ヶ島市議会基本条例の制定をめぐる取り組みについて

鶴ヶ島市議会基本条例の特徴は、条例文について幾つかの先進地議会のを参考にし策定しています。

特筆すべきは、前文の中に、「制度の上では、議会の意思が市民の意思であり、議会の決定が市民の決定である。」という文言を入れたことであり、鶴ヶ島市議会の議会改革の決意であると考えます。

また、議会報告や公聴会、一問一答方式の採用や自由討論等を実施してから条例を制定しています。

2市町が議会広報編集の視察で来村

静岡県裾野市

2月2日、裾野市議会だより編集委員会の委員6名が視察研修のため来村しました。

裾野市は静岡県の東、富士山のふもとに広がり、工業が盛んな市です。人口は5万4500人、面積は本村の約2倍。気候は温暖で、交通の便も良く、豊かな自然と産業が調和し、「健康文化都市」を宣言しています。また、裾野市議会だよりは、平成24年1月15日で第106号が発行されています。

この日は、本村を映像で紹介した後、議会広報の編集の仕方や取り組み方について説明。また、事前にいただいた質問事項について回答した後、広報紙づくりについて活発な質疑応答が行われました。

そのほか、議会活動や議会改革等についての意見交換もあり、短い時間でしたが、大変有意義な交流となりました。

埼玉県吉見町

2月8日、吉見町議会広報6人が議会だよりの視察研修で来村し、議会広報の勉強と情報交換を行いました。

吉見町は、昭和47年11月3日に町

政を施行、人口 21,275人、面積38・63km²、大正時代になると考古学の発達によって各地で横穴の発見、発掘がなされた。

古墳時代の後期に死者を埋葬する墓穴として作られたものであることが明らかにされ「住居説」は、くつがえされることになりました。大正12年に「吉見百穴」は、我が国の代表的な横穴郡として国の史跡に指定されました。

吉見町議会だよりは、2月1日発行で第127号です。

その他で議会改革の意見交換もあり有意義な交流となりました。



吉見町議会視察

議会の動き

1月

- 16日 ●群馬県市町村トップセミナー
- 17日 ●広域圏定例議員協議会
定例議長会
新年懇談会
- 18日 ●村産業青年海外派遣推進委員会
- 19日～20日 ●昭和関屋工業団地内企業視察研修
- 20日 ●FMOZE賀詞交歓会「新春を祝う集い」
- 27日 ●議会全員協議会
議会基本条例策定特別委員会
- 30日 ●県・市町村議会議長交流会

2月

- 2日 ●静岡県裾野市議会広報視察
- 5日 ●ピンポンフェスティバル
- 8日 ●埼玉県吉見町議会広報視察
- 10日 ●県国民健康保険運営協議会
会長連絡会総会及び研修会
- 11日 ●ウインターフェスティバル2012
- 14日 ●定例議長会
利根沼田学校組合議会議員協議会
広域圏定例議員協議会

- 15日 ●議会基本条例策定特別委員会
- 22日 ●県町村議会議長会定期総会
県公にやく立毛共進会農林水産大臣賞受賞祝賀会
- 23日 ●利根沼田広域圏議会定例会
利根沼田学校組合議会定例会
沼田市二箇村清掃施設組合議会定例会
国民健康保険運営協議会
- 24日 ●議会全員協議会
簡易水道運営協議会
- 25日 ●生涯学習大会
- 29日 ●議会運営委員会
議会広報編集特別委員会
介護保険運営協議会

3月

- 1日 ●群馬県知事との懇談会
廃棄物減量等推進審議会
- 8日 ●第1回昭和村議会定例会
本会議(初日)
議会全員協議会
- 9日 ●議会全員協議会
- 12日 ●議会全員協議会
●中国農業実習生歓迎会
- 13日 ●昭和中学校卒業証書授与式
本会議(第2日)
- 14日 ●総務民生常任委員会
- 15日 ●文教産建常任委員会

- 16日 ●本会議(最終日)
- 21日 ●「やさい王国 昭和村」フォトコンテスト審査委員会
- 22日 ●議会広報編集特別委員会
- 23日 ●村内小学校卒業式
- 24日 ●村内保育園卒園式
- 27日 ●家族経営協定調印式
- 29日 ●良い歯の子と育てた家族の表彰式
緊急告知FMラジオ運営協議会
- 30日 ●議会広報編集特別委員会

4月

- 1日 ●第1回分団長会議
消防委員会
- 2日 ●議会運営委員会
- 5日 ●村内保育園入園式
第2回臨時会
- 6日 ●玉村町議会交流会
- 7日 ●議会広報編集特別委員会
- 9日 ●昭和中学校入学式
村内小学校入学式



声を出して本を読もう



大河原小学校長
青木 美穂子さん

子どもたちの本を読む元気な声が、毎日教室から響いてきます。1人で読む、2人で読む、みんなで読む、子どもたちは、声に出して本を読むことが大好きです。

大河原小学校では、年間3回の音読発表会を行っています。各学年で工夫した発表があり、誇らしそうに暗記した詩や文章を読む子どもたちの姿が感動的です。

1月に「昭和村の子どもたちにぜひ読ませたい音読教材集」(高学年用・低学年用)という2冊の冊子ができあがり、子どもたち全員に配布することができました。こ



音読教材を活用しての発表会

の冊子を活用して、これからも子どもたちが楽しく音読できるよう工夫していきたいと考えています。子どもの時は何でもすぐに暗記することが出来ます。子どもの時に覚えた美しい詩や文章が大人になってふっと思い出され、人生を豊かなものにしてけると信じています。

今回は、平成23年度管内校長会会長と

各保育園長の声をお届けします。

子ども達の成長楽しみ



前第1保育園長
新木 邦江さん

昭和村第一保育園ができて39年になりました。開所当時は半数以上の保護者は農家の方で、お帰りの時間の午後3時30分には園庭に祖父母が孫をお迎えにきてくださる姿が多く、入所年齢も3歳児からですが3歳での入所する園児はわずかでした。今は、朝7時30分から夜7時までの保育時間、入所年齢は6ヶ月からの受け入れと大きくいろいろが変まりました。しかし、親や保育士が子供をかわいく愛しく思う気持ちは変わりません。ですから家庭で子どもと接する時間が少なくなった分、家庭と



ちゅうりつ組の様子

しての役割を時々立ち止まって考える必要を感じる保護者、また、長い時間子ども達が過ごす保育園としては子ども達が寂しくないよう配慮し家庭的な雰囲気の中、元氣一杯安心して過ごせるよう心がけることの必要性を感じて保育をしています。そして家庭も保育園も子ども達の成長を楽しみに、子ども達から元気をいただきながらたくさん褒め自信のもてる子に育てております。

幼児教育への思い



前第2保育園長
和南城きよ子さん

昭和村第二保育園は、旧赤城分校跡地に建てられて30年を迎えました。64名が元気に通園しています。赤城分校をご存じの方はここに校舎、ここに職員宿舎、ここにプールがあったなあとつかしうに教えてくれます。広い園庭に恵まれ、サッカーのコーチの方からは動きが違うとほめていただき、それは子ども達への自信につ



3月3日の雛まつりのもちつき

ながっています。遊ぶ時は遊ぶ、寝る時は寝る、食べる時は食べるの3つの生活習慣の確立をめざし、後は応用のきく自分で考える子どもに成長できると考えます。全園児で草取りや、年長児のゴミ拾いを通じて自分だけきれいな良いという考えをなくしてほしいと実施しています。昭和村は教育にはとても適した村だと思えます。自然に恵まれ親の背中を見られる仕事や、祖父母が見守ってくれるやさしさがあります。すなおな園児たちにふるさとを大切に思う子どもに育ってほしいと願っています。

相互に「生かされている



子育て保育園長
中村 真一さん

昨年の東日本大震災・被災者の方々のご心痛を察する時、平時平凡のありがたさをかみしめる昨今であります。

また「光陰矢の如し」と言いますが、平成18年7月には加藤村長を

はじめ村当局の多大なご支援と村議会議員・農業委員・民生委員・各種役職の方々・保護者会役員・法人役員・地主の皆様方のあたにかいご助力により現在地に新園舎改築の運びとなり、早いもので6年が経過いたしました。このことを通じて村内外のさまざまな方々のあたたかい人情に接し、人は「生きている」のではなく、お互い相互に「生かされている」のだとつくづく思いました。



子育て保育園の園庭で元気に遊ぶ園児たち

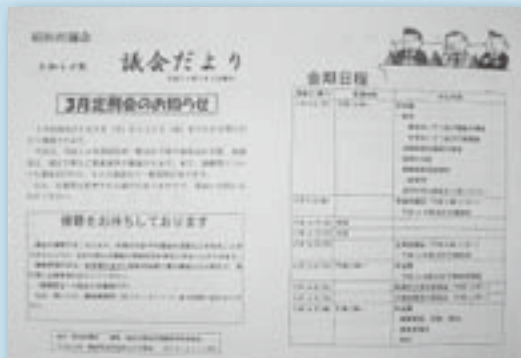
3月定例会の

お知らせ版を発行

議会広報編集特別委員会では、3月定例会を前に、お知らせ版を新聞折り込みにより、各家庭に配付しました。

会期日程や議案等の件名、一般質問の内容、請願等の件名などについてお知らせしましたが、いかがだったでしょうか。

当委員会では、今後も、定例会前にはお知らせ版を発行する予定です。ぜひとも、議会傍聴にお出かけくださいますようお願いいたします。



地域でがんばる人

サッカーを主体とした交流会について

サッカー協会長 竹内 敏昭さん（赤城原第二）

昭和村サッカー協会及びNP
O法人ジェイウイングスは、広
大な自然の中でサッカーを中心
としたスポーツを通じ、「より
やさしく、より豊かな、こころ
を育む」事を目的として交流活
動を行っています。



主な定期的な活動としては、昭和村と同じくキヤノン電
子㈱の工場がある埼玉県美里町とのサッカー交流会をふれ
あいグリーンパークで行っており夏には横浜市又東京都の
少年サッカーチームとの交流会を行っています。

サッカー交流試合

又、奥寺康彦杯少年サッカー大会
の開催、知的障害者の大会など定期
的に行っています。昨年はグランド
ゴルフ大会の開催、東日本大震災少
年サッカーチームとの交流会などを
行いました。特に大震災で福島第一
原発がある双葉郡大熊町の合併チー
ムが震災後バラバラになったチーム
を村民各位の支援金で招待できたこ
とは本当にありがたく御礼申し上げ
ます。これからも皆さんの協力を得
ながら積極的に地域交流を推進して
いきたいと思っています。



春の健康ちょとレシピ

(昭和村管理栄養士 丸山智恵子)

材料(10個分)

①【薄力粉…100g、強力粉…100g、ベーキングパウダー…小さじ2、砂糖…大さじ3】、②【バター(溶かす)…50g、牛乳…50cc、溶き卵…1個】、牛乳…適量、グラニュー糖…大さじ $\frac{2}{3}$ 、シナモンパウダー…適量

作り方

- ①②の粉類を合わせてふるい、ボウルに入れる。
- ①に②を加えて木べらで混ぜ、まとまってきたらボウルの中で5分くらいなめらかになるまでこねる。丸くまとめてボウルに入れ、ラップをかけて常温で30分休ませる。
- ③まな板に薄力粉(分量外)で軽く打ち粉をして、②を麺棒で約20cm角に伸ばす。生地の上にハケで牛乳を塗り、グラニュー糖とシナモンパウダーを全体にふる。手前からくるくる巻き、10等分に切り分ける。
- ④オープンシートを敷いた天板に③を並べ、表面にハケで牛乳を塗り、180℃のオープンで約20分焼く。



栄養価(1人分)

熱量…136kcal、たんぱく質…2.8g、脂質…5.2g
カルシウム…28mg、鉄…0.3mg、塩分…0.1g

ワンポイントアドバイス

- ・焼くときに中央を少し押すと真ん中の盛り上が控えられます。
- ・甘い味が好きな方は中に巻くグラニュー糖を増やしてください。

シナモンパン

編集室から

昨年3月11日の東日本大震災により多くの尊い生命と財産が失われ、一年経った今でも、住み慣れた郷里に帰れない人々が数多くいらつしやることに、改めて政治の在り方に疑問を感じました。なぜ、どうして、どうやって早くに復興・復旧ができないのか残念に感じます。

今冬は、日本海沿いに異常な降雪があり、彼岸を過ぎても天候が定まらない日が続いており、朝晩の寒さには格別のものがあります。皆さんも、ご自愛なされてご活躍ください。編集委員も、村民の皆さんに読んでいただき、感想などをお寄せいただければと切に願っております。

議会広報編集特別委員会

委員長 星野 吉一

副委員長 加藤 生

委員

横坂 先夫 角田 茂
加藤 美昭 兵藤 喜孝
藤井 富夫 高橋 昇三

加藤 生 記